

南の風、吹かそう皆で!

宮崎南ロータリークラブ
会長 早瀬清則

第1992回例会 2019.2.4

会長 / 早瀬清則 幹事 / 山地久守
副会長 / 小園隆司 会報 / 三重野孝
例会場 / 宮崎観光ホテル
ソング / 君が代 四つのテスト
ロータリーの目的

会長挨拶

早瀬清則会長



皆さんこんにちは、早いものでもう2月です。昨日は節分、今日は立春で、明日は旧暦のお正月と成り、大きな節目が1度に來ます。

節分と言えば「豆まき」ですが、皆さん昨日は豆まきをされましたか? 近頃は少子化や核家族化そして、住宅事情の影響でしょうか、どうも下火になった様です。私が思うに、以前は大豆をまいていましたが、最近は落花生に成ったせいで、ブームも落下したのではないのでしょうか? これに変わって最近、「恵方巻」の方がブームです。これは大阪が発祥の地で20年程前から販売が始まり、セブンイレブンが全国に広めたと言われていました。これに地元のスーパー等が加わり商戦が繰り広げられ、今や国民の6割から7割の人が食べていると言われていました。これはバレンタインデーのチョコレートと同じで、あやかり商法なのではないでしょうか? 実は私の所でも、15年程前から製造販売していますが、私はどうも「あやかっ」様に思います。

今日は暖かい素晴らしい天気になりましたので、大淀川の鴨も気持ち良さそうに泳いでいます。1日か

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数 (43)	46名	会員数 (44)	46名
本日欠席者数	16名	ホームクラブ出席者数	28名
本日出席者数	30名	メイクアップ数	1名
出席率	65.22%	修正出席者数	29名
		修正出席率	65.912%

●前々回メイクアップされた方/河野慎也会員

ニコニコ BOX 1件 8,000円
累計 193,200円

募金箱 5,043円
累計 102,457円

ら県下5カ所でプロ野球のキャンプが始まりましたが、選手達も気持ち良く体を動かしていると思います。

いまや宮崎の春の風物詩として定着しているこのキャンプは、100億円前後の経済効果をもたらしていると言われ、大変有難く思います。しかし、気の毒なのはキャンプインすると、何故か冷たい風や、雨が多くなることです。今日は立春ですが、春とは名のみで冷たい霧島下ろし、俗に言う「千切り風」がまだまだこれから強くなります。皆さん風邪などひかれない様十分お気を付け下さい。

今日は、月初めの例会で、色々な行事や、国際奉仕委員会のタイ訪問報告等がありますので、私の挨拶は、これ位で切り上げます。本日の例会宜しく願いいたします。

ビジター



宮崎RC

岩切紀幸会員

幹事報告

山地久守幹事



・RI第2730地区奉仕活動部門より、職業奉仕セミナーの案内がきています。

日時：2019年2月23日（土）

13：00～15：30

場所：鹿児島市宝山ホール会議室。

講師：前米山親善大使干咏様（名古屋西RC）

・霧島ロータリークラブより、2月1日に事務所を鹿児島県霧島市牧園町高千穂3311に移転した旨のお知らせがありました。

・奄美中央ロータリークラブ創立40周年記念式典及び祝賀会の案内がきています。

日時：2019年4月26日（金）

16：30～20：45（受付16：00～）

場所：奄美観光ホテル

・志布志みなとロータリークラブ創立20周年記念式典及び祝賀会の案内がきています。

日時：2019年5月18日（土）

15：00～20：00（受付14：20～）

親睦委員会

高瀬俊彦委員長



・4月15日(月)は2,000回例会になりますので夜間例会になりますので、予定をあけていただけたらと思います。

ニコニコBOX

日高章智会員

昨日のフェニックスCC月例杯で優勝した様です。又、先週の南クラブコンペで運良く優勝させて頂きました。

ロータリーフラッシュ

●誕生月

中原捷博会員

●結婚月

安川 潔会員

戸高勝利会員

森 英典会員

●米山奨学金授与式

ミヤティンチュチュウ様



●入会式

熨斗克典様（紹介者 大迫三郎会員）

勤務先：フェニックス・シーガイア・リゾート



青少年奉仕委員会

富井雄二委員長



少年少女サッカー大会を3月21日に開催いたします。後日ご案内をいたしますのでご協力をお願いいたします。

本日のプログラム

会員卓話

国際奉仕委員会

大田寛子委員長



先月、高瀬会員と安川会員の3人でオムコイ国際奉仕に行っていました。オムコイはタイの北部の山の上にあります。今回は昨年寄贈したバーンクンメートウンノイ幼稚園・小学校の職業訓練センターの検証と、クンメートンヴィク中高校に奨学金贈呈式を行ってきました。

バーンクンメートウンノイ幼稚園・小学校はチェンマイ市内から車で6～7時間、オフロード車に乗り換えて2時間山道を登ったところにあります。山道は舗装されておらず、粘土質の土のため、雨が降ったあとはタイヤにチェーンをつけても登るのが大変な道になります。

もちろん周辺に食料品を買うところはなく、住民たちは麓の小さなマーケットなどで当分の食料を買い込み、トラックの荷台いっぱいに載せて帰るとい



未舗装の道を行く現地のオフロード車

う生活をしています。学校の子どもたちの食料も先生方が険しい道を往復して麓から調達しています。小学校に行く道の途中には橋のない川があり、雨が降ると数日学校は孤立状態になります。満足な食料を調達できないため、学校では子どもたちも手伝って自給自足していますが、子どもたちの給食は貧しいものです。食事もそんな状態ですから医薬品が十分に揃っているはずもなく、病気になれば寝ているしかありません。小さなソーラーで電力を補っているため夜には真っ暗な中で過ごすこともあります。日本では考えられない環境でも子どもたちは素直に育ち、笑顔にあふれていました。

バーンクンメートウンノイ幼稚園・小学校の子どもたちのほとんどは「カレン族」という少数民族です。去年は彼らの伝統工芸である機織りを学ぶため職業訓練センターを寄贈しました。今もきれいに保たれ、子どもたちは真剣に機織りに励んでいました。カレン族はこの織物と農耕で生計を立てていますが、その暮らしぶりは貧しく、今にも崩れ落ちそうな小さな小屋で家族身を寄せ合って暮らしています。今回バーンクンメートウンノイには食料や学用品、花火をプレゼントし、感謝状をいただきました。今回の一番の目的である奨学金贈呈には、このバーンクンメートウンノイ幼稚園・小学校の卒業生が通う、クンメートウンヴィク中高校に行ってきました。

オムコイの子どもたちは中学までは国の支援を受けて何とか卒業できますが、高校進学、ましてや大学進学は限られた子どもたちしか出来ません。奨学金はチェンマイにある看護大を卒業し、看護師としてオムコイに帰る学生に授与されます。オムコイには国立病院本院とメートウン分院の2つしかありません。その2つも医薬品や医療従事者が満足にあるわけではなく、通うにも遠いので、日本では治る病気で命を落とす人々がいます。日本とは違い、手術以外の医療行為を行える看護師を養成しオムコイに派遣することで村の暮らしを良くしようというプロジェクトです。

候補生は7名います。そのうち1名はすでに大学を合格していますが、学校側は7名全員の合否が出てから奨学生を決めたいとのことで、その意向に沿うことにしました。贈呈式には候補生も参加し、進

学が難しい環境の中、看護大に進み地元貢献できるかもしれないという希望と喜びに満ちていました。そして感謝状と候補生からはカレン族の伝統織物をいただきました。彼女たちは地元のためにしっかりと学んでくれることと思います。

